

長谷川誠子

6月例会 議事録

日時: 令和4年6月2日(木) 15:00~17:00

場所: 川本本店 茶論[縁](さろん「えん」)

出席者8名 川本 阪田 阪田 笹嶋 杉田 鈴木 藤原 長谷川

- 1 5月24日(火) 大東市散策は無事終了しました。参加者8名。企画、現地との交渉にご尽力いただいた長谷川さんにお礼申し上げます。2~3ページに当日の記事を掲載しています。
- 2 7月4日(月)に奥嵯峨散策を実施します。昼食はアユ料理。阪急茨木市駅10時集合。参加者合計23名。内訳 街ing13名 川本 河村 阪田 佐藤 杉田 中村 南野 南野B 長谷川 牧 松岡 吉田 吉田B その他10名 です。
- 3 鈴木さんの個展が終了、500名を超える入場者数があり盛況でした。
- 4 宇治平等院周辺を散策 昼食は普茶料理(精進料理)5,500円程度。当初10月3日(月)を予定していましたが、11月下旬に紅葉狩りとして実施します。詳細は今後の例会で決めます。
- 5 10月に尼崎または芦屋周辺の散策を計画しています。
- 6 忘年会を12月に予定。
- 7 次回7月7日(木)の例会は総会です。
- 8 毎年8月8日に行われる弁天花火大会は3年連続で中止となりました。



以上

まちなみに残る風景を訪ねて

大東市の魅力を満喫

実施日 2022年5月24日(火)

参加者 街ing8名 川本 河村 阪田 清野 長谷川 牧 松岡 吉田

大東市は昭和31年に周辺の町村(住道町、四条町、南郷村)が合併して誕生しました。大阪市の東に位置することが大東市の由来です。東は奈良県に接しています。人口は現在約12万人。縄文時代は河内湖でしたが、その後河内湖が縮小し人々が住み着くようになります。江戸時代に大和川のつけかえがあり、農業が発展しました。今回の散策では、この地域特有の水郷風景、東海林太郎の歌で名高い野崎観音を楽しみました。案内をしてくださいました大東市観光ボランティアガイドの林田さんにお礼申し上げます。

霨(おかみ)神社

あめかんむりに龍と書きます。

霨神社には、水を司(つかさど)る龍がいと伝えられています。水害を防ぐことは、この地区の重要な施策(しやく 政策や対策)でした。「大都市よりも大東市」は住みよいまちづくりを目指す大東市のキャッチフレーズです。



辻本家住宅

辻本家は江戸時代に庄屋をつとめていました。この建物は江戸時代の後期1834年に建てられました。歴史的景観に寄与しているものとして、国登録有形文化財に登録されています。



辻本のある地区には、現在も門構えのある大きな屋敷が並び、風格のある歴史的景観が残されています。
この付近は景観上優れたまちなみとして、「大阪都市建築賞」を2004年に受賞しました。

野崎観音への参道です。
江戸時代の「野崎まいり」は大坂城近くの八軒家浜(はちけんやはま)から屋形船で寝屋川をさかのぼっていました。人形浄瑠璃の作品の舞台として有名です。
野崎参りは屋形船でまいろの「野崎小唄」は寝屋川高校の教員が作詞し、東海林太郎によって全国的なヒットとなりました。昭和10年のことです。



大東市観光ボランティアガイドの林田恵子さんです。
分かりやすい語り口で、大東市の歴史と魅力を解説していただきました。驚くほどの知識に圧倒されました。まさに天下一品のガイドさんです。ますますのご活躍を願っています。



最近の「まちあるき」で、考えさせられたことなど！？

枚 彰

拝啓 人生の“出会い”と“別れ”を華やかに演出する＜桜花の季節＞も早々と過ぎ去り、野山に生命の息吹が一入感じられる清々しい＜新緑の候＞となりました。

知的好奇心頗る旺盛な『街 ing いばらき』諸兄・諸姉の皆さまには、益々ご健勝のことと心からお慶び申し上げます。

さて、世界的流行の“新型コロナ騒動”などにより、ここ十数年来僕も参画してきた「すまいをトーク」は、3年にも及ぶ休講を余儀なくされて来ましたが、昨年10月にやっと「再開の運び」となりました。休講中に寄せられた“励まし”や“ご厚情”の数々、本当に有難うございました。

新年度4月講座＜宇治の地に「松殿山荘・平等院」を訪ねる＞は、行く春を惜しむ花吹雪に彩られて終了しました。懸念されていた受講者も総勢39名に達し、何とか“新型コロナ騒動”以前に近い状況となりました。

先ずは、一安堵です。

また、僕が水先案内した5月講座＜中世の面影漂う「今井町・八木町界限」を巡る＞も、大変嬉しいことに49名の参加を得ました。

此処に至り、会員数もなんとか盛時の状況に達し、財政的にも暫しの安定が見込まれます。

今後とも、講座の内容に幾許かの関心と、時間などに“ゆとり”がある場合に限りお越し戴ければ、嬉しく存じ上げます。



僕が建築設計業（サービス業）という“現役人生”を退いてから、早くも四半世紀経過しました。まさしく「光陰矢の如し」の感慨一入です。以降、複数の大学で教鞭を執る傍ら、地域社会などで、細やかながら「まちづくり」・「まちおこし」のお手伝いをしてきました。

いずれの市民活動団体も発足以来二十数年も経ちますと、会員相互の高齢化著しく、健康を理由に脱落する者（特に男性）は枚挙に暇がありません。かつて近郊の町並みを共に闊歩した健脚たちも、いつの間にか、一人、二人と消え去りました。斯くいうこの私すらも、今年齢82歳！そろそろ「老兵は死なず、ただ消え去るのみ！」の心境です。やっぱし！

そのような状況下では、『街 ing いばらき』存続のために、また、できるだけ多くのご高齢者が「希望を持って生きる」ためにも、先ずは、常に会員の体力や道程の歩行距離などを勘案しながら、企画を立案せざるを得ません。

また、昨今の大きな傾向として「街歩き」・「歴史探索」で特に留意することは、何時、何処で、「何をみ（見・観・診・視・看）るか？」ではなく、「何を食べるか？」も併せて肝要と心得ます。

かつては、道すがらスーパーやコンビニなどに立寄って弁当を買えばそれでよかったのですが、これでは今時のご婦人方（主に6～70歳台）は一向に納得して戴けません。非日常的な行楽行事なのだからと、それなりに地域の食文化の一端を担うような意義ある会食を望まれるのです。

<“兼好法師”所縁の“双ヶ丘”界限徒然漫歩（4／5）>では、『街ing いばらき』では最高額の「御室佐近・和洋折衷料理（5千円）」としたのですが、瞬く間に定員（28人）に達して、延いてはキャンセル待ちが出るような始末でした。

また、<奥嵯峨に“古の佳人”の足跡を訪ねる！（7／7）>の「奥嵯峨鳥居本平野屋・鮎づくし（1万円超）」でも、既に定員（20人）オーバーの参加希望者があるほどです。

一般家庭の主婦にとって5千円超の食事代はかなり高額で、些か「二の足を踏む」と聞いていたのですが、これは一体どうしたことでしょう！？

仲間内の「コロナ禍で好きな海外旅行にも行けず、ヘソクリが溜まっている。贅沢な会食を望むのは、そんな日頃の欲求不満の解消なのかもね！？」との説得力ある弁に、凡愚の身は思わず納得！



天然鮎の塩焼き（奥嵯峨・平野屋）



近江牛のステーキ・フィレ（近江八幡・西川）

<『茨木土曜クラブ』近江・大津に“芭蕉の足跡”を辿る（4／1）>と<『男の料理』温故知新の町・近江八幡に行く（4／13）>は、男性限定の市民活動団体です。昼食代は、いずれも倏しく2～3千円の範囲内でした。

大津・石山では、石山寺門前の老舗「湖舟」の地産地消に拘った名物「志じみ釜飯1千7百円」に舌鼓。

近江八幡では、近江牛の一貫飼育を行う自社レストラン（近江西川）で「近江牛弁当（3千円）」。

本場近江牛のステーキは、松（1万5千円）、竹（1万円）、梅（7千円）とあり、いずれも税別。特別メニューとして、昼限定ステーキ5千円とか！

いずれも女性が主体の<『街ing いばらき』双ヶ丘・奥嵯峨など>とは、比べようがありません。おそらく、男共には現役時代の些か倏しい社員食堂の概念から抜け切れないんでしょうね、定年後20年ほど経つのに！これなどは、サラリーマンの悲哀を未だに引きずっているといえるのかも！それとも、家長（死語？）の自分だけ贅沢はできないという家族愛の一端の一端でしょうか？

胎内に内蔵していた卵子を出し切って、「種の保存」の役割を既に終えられた高齢のご婦人方と、息絶えるまで細やかながら未だに精子を作り続けさせられている僕ら老翁とは、“二大本能”の内、の食欲の占める比率が自ずと異なっていて然るべきなのでしょうね、きっと！？

おそらく、世間一般の高齢男性共には、女性ほど「美味しいものを食べることに執着しない」のが“自然の摂理”として捉えるべきなのでしょう。

『街ing いばらき』の健全な存続のためには、これからも“理性（知識欲）”と“本能（食欲）”との適切な均衡こそ最も肝要と心得ます。

いずれ『街ing いばらき』でも、“新型コロナ騒動”が一段落し次第、<温故知新の街・近江八幡に行く（順路：ラコリーナ～手漕ぎ舟で水郷巡り～近江牛試食～街歩き）>を企画するつもりですが、果して近江牛の昼食は、松・竹・梅、昼限定のどのあたりに落ち着くことになるかな！？

おそらく来春以降になるだろうけど、今から頗る興味津々！

敬具



大門寺の大規模な移設工事の現況

杉田 宗三

2017年3月1日の告知板設置から始まった大規模な移設工事の現況を写真で紹介いたします。(※ 2019-2月号、2021-4月号でも既報)



完工は、2年以上先になる見通し

本堂や庫裏の完成後に新しい境内の開発申請を行う予定の由



山門は解体修理の上、復元



旧の境内の殆どは、講堂と池が占める



本堂は、京都東山にある智積院(ちしゃくいん)金堂の構造を模して、少しサイズダウンしたもの



高齢者が安心して利用できる SNS とは 杉田 宗三

「高齢者への SNS のすすめ」の記事から内容を抜粋して紹介します。

SNS とは、「Social Networking Service (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)」の略語で、**ネット上で「社会的な繋がりを提供するもの」**という意味になります。現在の SNS はさらに「繋がり、交流、情報の共有・拡散」に特化した機能をもっています。これにより気軽に便利に、さまざまな情報を集めることや、知らない人とまるですぐそばでおしゃべりするように交流することが可能になりました。

1. 高齢者が SNS を使うメリット 5 つ

① 災害時に SNS は連絡手段として非常に有効なツール

例えば「LINE」は 2011 年 3 月に起きた東日本大震災で、家族や友人との連絡が従来の通信網では取れなかった、あるいは取りづらかった経験をもとに生まれています。

また LINE の「既読」マークは、相手からの返信はなくても相手が「読んだ」ことが分かるため、そのスマホが使われている = 相手の安否が確認できる仕様になっています。

② 人と繋がることで認知症などの予防が期待できる

③ 興味があることの最新情報や評価の高い情報を得られる

④ 自分の趣味や個性を発信でき、数値で見てもらえた数を実感できる

⑤ 趣味などを通じて交流関係が広がる

2. 高齢者が SNS を使うデメリット 3 つ

① 個人情報流出する可能性があるため使う上で注意が必要

② 人間関係のトラブルに注意・・深入りしないこと

③ SNS 疲れやストレスの原因になることがある・・夢中になり過ぎると。

3. 高齢者におすすめの SNS の紹介

① らくらくコミュニティ

運営管理者 (FCNT 株式会社) がしっかりした企業であり、24 時間投稿をチェックしており安心して利用できる。利用料、利用登録は無料。

② LINE

家族や友だちと簡単にメッセージのやりとりが出来、通話も無料でできる。

災害時には安否確認としても使える。

③ ナビトモ

開設 20 周年の実績があり、安心して利用できる。利用料は無料

など

次回のイベント

奥嵯峨とアユ料理 7月4日(月) 阪急茨木市駅集合 10時

次回『街ing いばらき』例会のご案内

日時: 7月7日(木) 15:00~17:00

場所: 川本本店 茶論「縁」(サロン「えん」)

住所: 茨木市上泉町6-29 TEL: 072-624-5552

- 内容: 1. 総会の開催 決算報告 役員改選 今年度の事業計画
2. 7月4日(月)奥嵯峨散策の振り返り
3. その他



『街ing いばらき』とは?

茨木のまちづくりを考える市民グループです。といってもあまり硬いことではなく、月一回の例会や年3回程度の街歩きを行なっています。参加資格は問いません。入会に関心のある方は、お問い合わせください。とりあえずのご見学や、イベントの単発参加も歓迎します。

入会金 1,000円 会費 年間 2,000円(一か月 170円)



《 編集後記 》

- 街ingが発足して20年が経過。21年目に入っています。7月7日(木)の例会は総会を兼ねます。おいしいスイーツを用意します。ぜひご参加ください。15時開始。3回目のワクチンは完了していますよね。引き続き、うがい、手洗い、マスク着用などの自衛策をお願いいたします。
- 7月4日(月)に奥嵯峨を訪ねます。経験したことのないアユ料理の昼食です。梅雨の季節ですが、何とか晴れてほしいです。23名の参加を予定。楽しみです。
- 街ingの行事は任意・自由参加です。事故・傷害などについては、自己責任で対応ください。街ingでは事故に対して、一切の責任を負いません。

《 編集・発行 》

阪田 浩 〒567-0881 茨木市上中条一丁目 10-22
Tel/Fax 072-627-3480 e-mail: ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp
街ing ホームページ : <http://www.machiing-ibaraki.com/>

ホームページは杉田さんが作成されています。ときどきはのぞいてみてください。

2022年6月現在での訪問者は9,620<前月比20の増加>となっています。